

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます



皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、那須町長として2期目を迎えました。「夢ある未来へ！進化し続ける那須町」を目指し、町民、事業者の皆さまと描く8分野プラス1、50項目を公約に掲げ、移住定住対策、子育て・教育環境の充実、基幹産業支援推進を大きな柱として、様々な事業に取り組んでまいりました。

当町の昨年の動きを振り返りますと、4月にはテレワークの拠点施設「ワークベース那須」がオープンしました。この施設は、新たなライフスタイルに対応するため作られたコワーキングスペースで、起業家の支援やテレワークでの活用等、町民や企業の皆さまにご利用いただければと思っております。お試しサテ

ライトオフィスも整備されており、観光以上移住未満の関係人口といわれる層を取り込み、那須のファンを増やすことを目指しています。また、新婚・子育て世帯向け賃貸住宅「ウイングヴィーナス」の入居が始まりました。エレベーターやオートロック、24時間コールセンター等の設備が充実しており、安心して生活していただいております。さらに、高原地区地域包括支援センターを新設しました。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるため、介護・医療・保健・福祉等の側面から高齢者を支える機能が強化されました。

10月9日には、いちご一会とちぎ国体自転車競技（ロードレース）が行われました。ボランティアを始め、多くの方々にご協力をいただき大会の記憶に残る素晴らしい大会となりました。

今年、道の駅「那須高原友愛の森」の直売所と物産センターの新築を予定しております。道の駅の魅力向上と、町内周遊の促進により、観光の活性化に取り組んでまい

ます。また、町民の皆さまの生活や経済活動の基盤である道路や橋梁の適正な管理や点検および補修等を進めるほか、地域活性化起業者や地域力創造アドバイザーによる民間企業のノウハウ等の活用や、本町の現状分析、施策の体制づくりを行います。さらに、一人ひとりの子どもが健やかに成長できるように第3期子ども・子育て支援事業計画の策定に向けたアンケート調査や不妊治療に係る休業補償の実施を目指すとともに、小中学校におけるICT環境の充実を図ってまいります。

子育て世帯の支援や経済再生のための施策を着実に推進し、みどり輝き活気と笑顔あふれるまちづくりに取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、この1年が皆さまにとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

那須町長

平山幸宏